

【電話会議質疑録】平成 26 年 12 月期 第三四半期決算について

<日時>11 月 5 日 17:30-18:30

<登壇者>取締役経営管理部長 溝上、経営管理部IR室長

1. 国内酒類事業について

Q. 発泡酒として再発売した「極 ZERO」の販売が好調だが、会社計画比ではどうなのか教えてほしい。

A. 9 月から他社が新商品を投入してきたが、「極 ZERO」の販売は引き続き好調に推移している。年間計画達成は十分可能と見ている。

2. 食品・飲料事業について

Q. 食品・飲料事業の中で、海外における売上高が伸張しているが、通期ではどの程度の貢献を見込んでいるのか教えてほしい。

A. 2014 年の海外における飲料売上高で約 200 億円、営業利益で 7 億円程度の貢献を見込んでいる。

Q. 消費税増税後、業界各社で自動販売機ビジネスが厳しいという話を聞くが、状況を教えてほしい。

A. 消費税増税の影響は直接的には出なかったものの、夏場の天候不順の影響は出ている。自動販売機については 1 台あたりの効率性を高めていく方向で管理を徹底していく。

3. 不動産事業について

Q. 恵比寿ファーストスクエアの竣工等、不動産事業は計画通りに進んでいる印象だが、アップデートをお願いしたい。

A. 恵比寿ファーストスクエアは 9 月 30 日に 100%稼働で竣工した。恵比寿ガーデンプレイスについては、大型テナントの退去により空いていたスペースが明年には全て埋まり、収益貢献する予定である。

4. その他

Q. 全体として第三四半期決算は会社計画を上回っているのではと推測するが、通期計画の達成についての考えを教えてほしい。

A. 第三四半期決算は、各事業ごとに若干の振れ幅はあるものの、全体としては会社計画を上回る結果となっている。通期計画についても変更しておらず、営業利益 150 億円の計画達成を目指している。

以上